

観音寺市地方創生総合戦略の進捗状況について (令和6年度実績)

1 調査方法

基本目標の「数値目標」、及び各具体的な施策の「重要業績評価指標（KPI）」の前年度実績を確認するとともに、KPI の進捗状況について、次の凡例により段階的に評価した。

【凡例】各年度の進捗状況

「重要業績評価指標（KPI）」について、目標値に対する進捗度評価を行った。
実績値/目標値による達成度に応じて、主にA～Eの5段階で評価している。

- 「A」：(100%以上) 目標以上に進捗しており、継続して事業を実施する。
 - 「B」：(80%以上～100%未満) 目標に向け進捗しており、継続して事業を実施する。
 - 「C」：(50%以上～80%未満) 目標に向け概ね進捗しており、継続して事業を実施する。
 - 「D」：(25%以上～50%未満) 目標を下回っており、要因の分析をして事業を実施する。
 - 「E」：(25%未満) 目標を大きく下回っており、内容によっては目標値または事業見直しを要する。
 - 「－」：当該年度調査なし、統計調査未実施等により達成率の算出ができないもの。
- ※減少を目指す指標は目標値/実績値により算出。

2 調査結果

「基本目標」における「数値目標」の進捗状況

「重要業績評価指標（KPI）」の進捗状況及び評価

基本目標 1 活力と魅力あるしごとづくり			
数値目標		実績値	目標値
就業者数（国勢調査） ※非正規、外国人を含む		27,327 人 （令和 2 年）	29,500 人 （令和 9 年）
令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年
—			

※ 国勢調査の結果による

（1）産業の成長を支える人材の育成・確保（意欲的な担い手や後継者の育成・確保）				
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
就職説明会の来場者数		72 人 （令和 4 年度）		150 人 （令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
93 人				C
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
認定新規就農者数		28 人 （令和 4 年度）		30 人 （令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
20 人				C
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
森林整備面積（累計）		0 ha （令和 4 年度）		1.5 ha （令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
0.9ha				C

【関連施策の実施状況】

令和7年3月開催（令和8年3月大学等卒業予定者などを対象）の三豊市との合同就職説明会は、91事業所が参加した。令和5年度は平日開催のところ、令和6年度は土曜日開催としたが、来場者数は前年度145名に対し、93名と減少した。

これまでは正社員を募集している市内事業所の情報をまとめた企業ガイドを冊子で発行していたが、令和6年度にWEB版観音寺市企業情報サイトを立ち上げた。また、マイナビ、リクルートと連携し、採用に関するサポートセミナーを実施した。

認定新規就農者の農業用機械（トラクター等）の整備に対する助成を要望のあった7人に行い、初期負担の軽減や経営発展・定着を図るとともに、就農希望者を受け入れる里親育成事業により、先進農家（研修生1人）の支援も行った。また、次世代を担う意欲ある認定新規就農者が自らの経営を確立する期間の資金（農業次世代人材投資資金・経営開始資金）として、要件を満たす8人に対し、補助金を交付した。認定新規就農者の令和6年度中の新規認定は1人であった。

令和2年度から森林組合と連携し、大野原町有木地区の1林班を対象地に選定した。林班内の大規模な私有林・人工林所有者を訪問するとともに、郵送による意向調査を実施し、令和7年度に森林経営計画を策定予定である。令和5年度に完了予定であった、里山環境整備事業（約0.9ha、高屋地区）については、令和6年度に造林事業を実施した。

【今後の取組について】

就職説明会は来場者数が減少している。例年3月以降に開催し、主に翌年に卒業する学生を対象としているが、3月時点で既に内定を得ている学生が約4割である。しかし、国の要請上、来場者の個人情報を採用活動に利用できる説明会は3月以降しか開催できないため、今後の開催時期について検討が必要である。周知方法については、引き続き、WEB広告等を活用し、来場者数の増加を図る。さらに、令和6年度に立ち上げた観音寺市企業情報サイトも活用し、市内企業の情報発信を行う。

認定新規就農者については、令和6年度中に認定期間を満了等の7人のうち、5人が認定農業者となり、地域農業の中心となる経営者として規模拡大等に努めてくれているが、本格的な高齢化社会の到来で、今後ますます担い手の不足・耕作放棄地の増加が予測され、認定新規就農者の発掘・育成は喫緊の課題となっている。

担い手の確保・育成のため、移住希望者の就農相談も行っているが、抜本的な対策はない状況である。魅力的で儲かる農業の仕組みづくりのため、引き続き各種政策を推進するとともに、農業分野を超えた連携を進めることが重要である。

令和7年度以降は、策定する森林経営計画に基づき、伐採等の森林整備を行う予定である。

森林経営管理法が施行され、近隣市町も含め、森林整備が推進されることで、林業就業者の絶対数は増加に転じる可能性を秘めているが、一朝一夕には困難である。確実に事業実績を積み上げていく中から将来像を展望したい。

（2）起業創業支援や企業誘致の推進

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
利子補給制度の利用事業所数		72 事業所 （令和4年度）		150 事業所 （令和9年度）
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
62 事業所				D

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
企業等誘致数		1 件 （令和 4 年度）		5 件 （令和 5 ～ 9 年度累計）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
4 件				B
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
製造品出荷額等（製造業全体）		197,139 百万円 （令和 4 年度）		206,000 百万円 （令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
206,899 百万円				A
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
創業者支援制度の利用者数 （累計）		29 人 （平成 30～令和 4 年度）		46 人 （～令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
33 人				C
【関連施策の実施状況】 利子補給については、令和 6 年度に新たに利子補給対象融資を実施したのは 19 件であり、令和 5 年度に比べ増加したものの、全体としては減少した。 企業誘致については、香川県や市の助成制度の周知に努め、令和 6 年度は 2 件の企業立地があった。 創業者支援制度の利用者数については、令和 5 年度より減少しているが、創業セミナーについては、他セミナーと比べると利用者数は多い。また、創業後間もない女性創業者を対象としたフォローアップセミナーを初めて実施した。				
【今後の取組について】 利子補給制度の利用事業者数については横ばいで推移しており、引き続き制度の周知に努める。また、利用事業者数の増加のため、申請窓口となっている観音寺商工会議所、観音寺市大豊商工会へ聞き取りし、事業者のニーズを把握する。 企業誘致に関しては、市内全体で人材確保が困難な状況であり、立地企業についても操業にあたり人材不足が生じている。引き続き、香川県や市の助成制度の周知に努めるとともに、ハローワークと連携し、立地企業の説明会の開催を検討する。 創業者支援制度については、国の要請により事業計画書の作成を求められているため、セミナー内容を見直す。				

(3) 地域産業の競争力強化				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
製造品出荷額等 (食料品製造業)		37,650 百万円 (令和4年度)		43,000 百万円 (令和9年度)
令和6年度公表 (令和4年分)	令和7年度公表 (令和5年分)	令和8年度公表 (令和6年分)	令和9年度公表 (令和7年分)	KPIの進捗評価
32,514 百万円				C
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
「観音寺ブランド」認証の産品数 (累計)		25 件 (令和4年度)		35 件 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
26 件				C
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
電子地域通貨 (銭形Kマネー) の 決済額		0 円 (令和4年度)		500,000 千円 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
127,319 千円				D
【関連施策の実施状況】 市役所1階モニターに常時、観音寺ブランド認証品のPR映像を流すなど広報活動に努めた。また、「香川×岡山つながる食の大博覧会」、「スーパーマーケット・トレードショー」、「よい仕事おこしフェア」などに認証事業者と共に参加し、観音寺市産品のPRや消費、販路拡大を図れるよう取り組んだ。認証品の新規募集により1品を追加し、1品の継続審査を行い再認定した。なお、令和6年度中に認証期間満了となる2品については、再認定の希望がなかった。 電子地域通貨として、市内の加盟店のみで利用できる銭形Kコイン事業を実施し、市内経済の活性化を図った。決済額は、令和5年度69,362千円に対して令和6年度127,319千円と増加し、銭形Kコインアプリ登録者数も令和5年度末の5,481名に対して令和6年度末は6,681名と増加している。令和6年度はチャージ店を2店舗追加したほか、チャージ額に応じたプレミアムポイントを受け取ることでできるチャージキャンペーンを実施し、新たな利用者を獲得できた。				
【今後の取組について】 観音寺ブランド認証品は、地道にPR活動が続けているものの、まだ認知度が低いと思われる。継続してPR活動を行うが、認知度が上がるような取り組みや、PR機会があった際に、認証事業者が出展したいと思えるような仕組みづくりについて調査検討する。また、認定事業者の増加が鈍化しており、認証品であることの魅力不足もうかがえるため、認証事業者又は認証品が増加するような取り組みも検討する。 銭形Kマネーは、市内8店舗でしかチャージできず、利用者に不便が生じている。また、加盟店の決済手数料を現状では市が負担しているが、加盟店に負担してもらい自走できるほど普及できていないため、今後は加盟店、チャージ店を増やし更なる普及を図る。				

基本目標2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり			
数値目標		実績値	目標値
合計特殊出生率		1.69 (H25～29)	1.70 (H30～R4)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1.59 (H30～R4)			
数値目標		実績値	目標値
子育てしやすいまちだと思ふ人の割合 (子育てアンケート)		42.7% (H31.3 実施)	60.0% (R6 実施予定)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
31.5% (R6 実施)			

(1) 子どもの成長を支える				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
授業でPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日利用した児童の割合 (小学校)		40% (令和4年度)		100% (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
30%				D
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
授業でPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日利用した生徒の割合 (中学校)		40% (令和4年度)		100% (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
40%				D
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
市内小学校の地域学校協働本部設置率		60% (6/10校) (令和4年度)		100% (10/10校) (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
70% (7/10校)				C

【関連施策の実施状況】

子どもの成長を支える取り組みとして、伊吹島での交流や体験学習を通して島の歴史や産業、生活の様子を直接学習するとともに、観音寺市の自然の素晴らしさを体験することを目的として、市内の各小学校の児童を対象に洋上学習を実施した。

また、異年齢集団での活動を通して自主性・協調性を養うとともに、ふるさとへの関心や愛着心が深まることを目的として、ふるさと学習、環境学習、キャンプなどの体験活動を実施した。自然や文化、歴史等、様々な活動を取り入れる事により、子ども達に貴重な体験の場を提供するとともに、指導者や体験場所については、地域の方々の参画・協力を得ることで地域とのつながりを深めることができた。

さらに、小・中学校において、ICT環境を整備するとともに、情報教育の充実と校務の効率化を目指し、教育のデジタル化を推進している。校務DX化のため、令和6年度は統合型校務支援システムの整備を行ったほか、令和5年度にリプレイスした校務用端末を利用して、校務のデジタル化とセキュリティの環境を整えた。教室では学習支援ソフトと1人1台端末を活用し、協働学習や個々の理解度に合わせた学習が進められ、児童・生徒の情報活用能力が向上した。また、小学校では、4年生以上の学年全員を対象として、学年に応じた発展的なプログラミング学習を進めており、興味関心を示す児童が着実に増えている。

【今後の取組について】

洋上学習については、参加する児童が等しく学ぶことができるように、関係機関との連絡調整や説明の工夫等に努める。また、様々な体験活動の実施については、多種多様なプログラムを計画する中で、指導者を探し出すのが最大の課題である。活動の募集は学校を通して行うため、学校の協力が得られるような体制を維持するとともに、より多くの子どもたちに参加してもらえるよう活動内容の充実を図る。

小・中学校におけるICT活用に関しては、学校間の情報交換、研修等の学校への支援を強化し、児童・生徒と教職員の情報活用能力を高める。また、統合型校務支援システムは、より良い運用方法を探り、調整改善していくほか、出欠連絡システムについても、有効活用する方法を周知することにより、児童・生徒と向き合う時間を創出し、教職員のICT活用能力を高める。今後のよりよい通信環境づくりについても検討する。

(2) 子育て支援・共同子育て推進

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
出生者数		343 人 (令和4年)		400 人 (令和9年)
令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	KPIの進捗評価
293 人				C
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
子育て支援センターの利用人数		32,016 人/年 (令和4年度)		45,000 人/年 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
45,512 人/年				A

【関連施策の実施状況】

子育て支援については、生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問（市保健師による訪問と香川県助産師会への委託）し、親子の心身の状況や養育環境等の把握と助言を行い、支援が必要な家庭に対する適切なサービスの提供につなげた。令和6年度実績は、訪問件数266件（うち助産師会の訪問33件）であった。また、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、おむつ、ミルクその他の育児関連用品を購入に対し、その一部（紙チケットまたは地域共通電子通貨 対象児一人につき24,000円分）を助成した。令和6年度の実績は、299名（紙チケット59%、電子チケット38%、出生後すぐ転出等による未申請3%）であった。

子育て支援センター「ほっとはうす萩」では、子育て親子の交流や、子育てに関する相談・育児の情報提供などを行い、子育てを応援している。コロナ禍を経て、入館者数は開館（平成29年6月）以来、初めて3万人を突破した。（令和6年度利用実績31,797人）民間事業者が事業を行っている拠点施設については、令和6年度は13,715人が利用し、令和5年度の12,918人から797人増加した。

放課後児童クラブでは、放課後に保護者が留守となる児童に対して適切な遊びや生活の場を与えることで、児童の健全な育成を図っている。伊吹小学校区を除く9校区において、公設は12教室、民設4教室で、令和6年度は定員を30名（公設20名、民設10名）増やして実施した。また、支援員の資質向上のための研修実施や、平成30年度から放課後児童クラブを巡回する専門指導員を配置したことにより、支援員の指導や複雑化する児童との関わり方を指導する体制をとっている。

【今後の取組について】

乳児がいる家庭への訪問は、核家族化や地域とのつながりの希薄化、対象家族の多様化により、子育て家庭が孤立しやすい状況が顕在化しているため、孤立を防ぎ、早期に必要な支援につなげることが重要である。訪問時には、家庭ごとのニーズに応じた柔軟な対応が求められるため、職員の継続的なスキルアップに取り組む。また、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るための助成は、令和6年度までは対象児1人につき24,000円を支給していたが、物価高騰の影響も考えられ、令和7年度からは1か月の育児関連用品に費やしている金額の半額である4,000円×12か月の48,000円を支給する。

ほっとはうす萩については、引き続き魅力あるイベント等を行いながら、子育てで孤立することがないように、気軽に親子等が立ち寄れる居場所作りとして、リピーターの増加や新たな利用者の発掘に努めるとともに、同所における利用者支援事業（ほっと相談）との相乗効果につなげる。利用者の声に基づき、集客数の向上に努め、子育て支援拠点としての機能強化を図る。民間の子育て支援センターについても、同様にリピーターを増加するとともに、初めて参加した親子も孤立することがないように、センターの雰囲気づくりを心がけ、利用促進を図る。また、引き続き幅広い情報発信や保護者への案内を行うとともに、地域全体の子育て意識の向上にも努める。

放課後児童クラブは、対象児童が小学6年生までに拡大（以前は概ね10歳未満）したことや女性の就労率の高まり等により、児童数の減少に反し、利用希望が年々増加傾向にある。待機児童が発生しているが、令和7年度より公設・民設それぞれ教室を1つ増やし、他校区へのタクシー送迎支援事業も行うことで、解消に努める。また、特別に支援を要する児童も増加の一途で、専門性が求められる対応も限界に近い。民間ノウハウを活用し、保育サービスの充実のため、民間委託を推進する。

(3) 誰もが活躍できるまち				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
一般介護予防教室の参加実人数		368 人 (令和 4 年度)		400 人 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
360 人				B
【関連施策の実施状況】 誰もが活躍できるまちづくりにおいて、超高齢化社会の到来に備えるべく、高齢者が自ら介護予防に取り組むことができる体制づくりを目指して、介護予防の普及・啓発を行うとともに、運動や社会交流・趣味活動を目的とした身近な通いの場の推進に取り組んだ。また、高齢者が自立した生活が送れるように、多職種と連携した支援体制づくりに取り組んだ。 運動の普及啓発を目的とした健康運動指導士による介護予防教室（観トレ）は 3 会場で実施し、1 人月 1 回、延べ 3,204 名の参加があった。地域で活動する運動ボランティアの活動支援を目的に年 3 回観トレマスターフォローアップ講座を実施し、19 名のマスターが活動中である。また、歩いて通える身近な場所で、地域が自主的に介護予防に取り組むための「銭形貯筋体操」の立ち上げ支援や運営支援を実施し、令和 6 年度末で市内 25 か所で立ち上がっている。さらに、高齢者の自立支援やリエイブルメントを目指してリハビリ専門職との検討会を年 3 回行った。				
【今後の取組について】 移動手段に課題がある高齢者が多い中、歩いて通うことができる身近な居場所の普及が大切になっているが、地域でリーダーとして活躍するボランティアの高齢化や人材不足が顕著であり、通いの場の更なる普及や持続可能な仕組みづくりが課題である。身近な地域での居場所づくりを担うボランティアの養成を行うとともに、地域で活躍する専門職や民間企業とも連携することで、多様な主体による介護予防の普及・啓発を目指す。				

(4) 女性が働きやすい職場環境の整備				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
かがわ女性キラサポ宣言に登録している市内事業所数		32 事業所 (令和 4 年度)		42 事業所 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
41 事業所				B
【関連施策の実施状況】 第 2 次観音寺市男女共同参画計画に基づき、互いの人権を尊重しつつ男女がともに活躍するまちづくりをめざし、庁舎等における啓発ポスターやパンフレットの配置を行った。11 月には「女性に対する暴力をなくす運動」（12 日～25 日）期間として、市内図書館に「パープルリボン」（女性に対する暴力根絶のシンボルマーク）などを飾り付けたシンボルツリーを設置するなど、意識啓発を行った。				
【今後の取組について】 第 2 次観音寺市男女共同参画計画の周知等、情報発信の充実を図る。				

(5) 結婚を希望する男女を応援する環境づくりの推進				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
かがわ縁結び支援センターの登録者数		51 人 (令和 4 年度)		60 人 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
52 人				B
【関連施策の実施状況】 結婚を希望する独身者に向けた新たな出会いを後押しするため、縁結び支援センター登録補助金として縁結びマッチング会員の入会登録料 1 万円の 2 分の 1 を市が負担している。令和 6 年度の利用者は 33 名であり、令和 5 年度より 16 名増加した。また、縁結び支援センター等が主催する講演会や研修会について、ポスターの掲示や SNS での周知を行った。 婚活イベントに関する補助については、商工会等の実行委員会が開催する婚活イベント（クリスマス集い、はるこい）に助成を行った。				
【今後の取組について】 縁結びマッチング会員の新規入会者は増加傾向にあり、この傾向を維持、促進するため、今後も縁結び支援センターと連携し、SNS 等を活用した周知を継続して実施する。結婚支援については、地域の人々や事業所などのサポートも必要であり、かがわ縁結び支援センターと協力して、市内事業所等に応援団体（出会いの場所や機会の提供などを行う）への登録についての周知を図る。また、独身者に対しても、チラシや広報紙への掲載、SNS による発信等により、縁結びマッチング会員入会登録への補助制度の周知に努め、利用者の増加につなげる。				

基本目標3 新たな交流を生むまちづくり			
数値目標		実績値	目標値
観光客数		117 万人 (令和4年度)	160 万人 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
167 万人			

(1) 観光・交流人口の拡大				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
道の駅(2か所)の総売上額		112,538 千円 (令和4年度)		150,000 千円 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
122,601 千円				B
【関連施策の実施状況】 本市の魅力を広くPRし観光客の増加を図るため、観光パンフレットやPRポスターの増刷・改訂、観光PR看板の設置などを定期的に行っている。令和6年度は、4市町観光パンフレットの英語版作成、SA-JAの改訂・増刷、オンライン商談会用のPR資料を作成した。 また、観光行政を推進するための中心母体である観光協会への支援を行っており、近年リニューアルした観光協会のHPでは、「観光スポット」・「グルメ」・「遊び」・「宿泊」・「おみやげ」など、それぞれのスポットやイベント情報の発信を実施している。 さらに、瀬戸内国際芸術祭2025開催に向け、香川県・地元関係者等と諸調整を行った。開催年ではない年に行っている「よるしるべ」に参画し、事業費の補助も行った。 アニメコンテンツを活用した取り組みについては、本市を舞台とするアニメの10周年イベントを行ったほか、スタンプラリーを実施した。				
【今後の取組について】 引き続き、効果的な観光宣伝が行えるよう情報発信手法の検討を行う。また、観光協会の法人格取得及びDMO化に向けた支援を行うとともに、事務所移転をハード・ソフト両面から進めていく必要がある。 瀬戸内国際芸術祭については、次回開催に向けた効果的な情報発信や、市内の混雑を防ぎ、来場者が安心して伊吹島へ向かえるような誘導、円滑な運営に努める。また、開催されない中2年間も「Art Setouchi」が開催されており、伊吹島においても屋外作品が数点展示されるなど、引き続き県や市の実行委員会と連携してアートを媒体とした継続的な観光誘客を行う。 アニメコンテンツを活用した取り組みについては、令和3年に設立した官民共同の実行委員会を中心として、引き続き、聖地巡礼によるコンテンツツーリズムの推進や他の観光資源とのマッチングを図るなど、新たなファン及びリピーターの増加を図る。				

(2) 関係人口の創出				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
がんばれ観音寺応援隊の隊員数		230 人 (令和 4 年度)		250 人 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
255 人				A
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
ふるさと納税の寄附金額		1,591 百万円 (令和 4 年度)		2,100 百万円 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
2,114 百万円				A
【関連施策の実施状況】 シティプロモーション事業として、東京有楽町駅前広場で「かんおんじフェア」を実施した。市内事業者による特産品の販売や移住定住相談、観光情報紹介、ふるさと納税 PR を行った。また、各分野で活躍されているそれぞれの立場から本市の魅力の紹介や宣伝など、本市の知名度やイメージの向上につながる活動を行う「ふるさと応援大使」によるステージイベントも同時に行い、にぎわいのあるフェアが開催できた。 ふるさと納税の推進については、返礼品やポータルサイトの追加、リピーターの獲得施策を実施したが、前年度と同程度の寄附額にとどまった。しかし、寄附金受領証明書の発送及びワンストップ特例申請の受付業務を外部委託することで事務の効率化を図るとともに、ワンストップ特例の電子申請を採用するなど利用者の利便性の向上に努めた。加えて、返礼品にお礼状やシティプロモーション冊子を同封することにより、本市の魅力を PR し関係人口の創出につなげている。				
【今後の取組について】 シティプロモーション事業では、令和 7 年度も引き続き、東京有楽町駅前広場において「かんおんじフェア」を実施する予定であるが、効果的な PR を行い本市の認知度が向上するよう、複数日開催を検討するとともに、令和 7 年度は三豊市と連携したフェアを開催することで集客に努めたい。 ふるさと納税については、寄附受領証を封書から圧着はがきに変更するなど、募集に要する経費の圧縮策を考え、基準を遵守した制度運用に努める。また、ふるさと納税を活用したシティプロモーションを強化するため、オリジナルカレンダーやラベルシール、ポストカードなどの PR グッズを作製し、より多くの関係人口の創出につなげたい。				

(3) 学校との連携				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
市内幼小中学校、高等学校及び大学等との連携事業数		22 事業 (令和 4 年度)		24 事業 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
35 事業				A

【関連施策の実施状況】

小・中学校では、地域の事業所等の見学等により地域の自然や産業、人々の営みに触れることで、教科等の枠にとらわれない総合的な学習活動を実施した。

大学との連携については、本市で不足している年齢層の大学生が、市内の地域資源を積極的に活用し、市の情報発信や交流の拡大を図る地域活性化事業に取り組んでいる。令和6年度も引き続き、香川大学の「瀬戸内地域活性化プロジェクト観音寺班」の活動を支援した。本市を舞台としたアニメの主人公らが勇者部（ボランティア部）として活動していることにちなみ、全国のファンと有明浜の清掃活動を行う「リアル勇者部活動」や、ふるさと学芸館（廃校を利用）における宿題教室、「ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 観音寺市」への参加、SNSでの情報発信等を行い、地域での交流拡大を図った。

【今後の取組について】

小・中学校では、教科等の枠を超え、児童・生徒が自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する資質や能力などを育むため、各学校において創意を凝らし、地域や学校、児童・生徒の実態等に応じて、それぞれ特色のある教育活動を実践していく。

大学との連携については、大学と市が地域の課題を共有し、課題解決に向けた取り組みとなるよう、より一層連携を深める。令和7年度は、「市内企業の人材確保」をテーマとし、大学生の企業インタビューや就業体験等を行い、観音寺市企業情報サイトの内容の充実も図る取り組みを実施する。

（４）移住希望者に向けての情報発信及びフォロー

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
転出者数に対する転入者数の割合		89.5% (令和4年)		100%以上 (令和9年)
令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	KPIの進捗評価
93.3%				B

【関連施策の実施状況】

移住定住支援については、関連する補助制度及び子育て教育施設の情報等を掲載した定住支援パンフレット2024を作成し、窓口等での配布やHP掲載を行った。また、大阪・東京における香川県移住フェアに参加し、本市の相談ブースを訪れた来場者に本市の概要や移住支援制度の説明を行った。さらに、移住定住や企業の人材確保支援の一環として、奨学金返還支援事業の検討を行った。

空き家バンク制度においては、空き家と売買・賃貸希望者をマッチングし、市民の定住や空き家の活用・流動化を図り、成約31件中、県外の人による成約が8件であった。また、空き家バンクの利用を促進するために、空き家リフォーム補助金も実施し、リフォームや不要物撤去に一部補助を行うことで、物件登録・成約を後押しした。（リフォーム15件、不要物撤去8件。）さらに、物件の成約促進のために設けている「空き家バンク事業者登録」の制度も、再度、不動産事業者に対して周知を行い、38件の新規登録があったほか、空き家バンクHPを改修し、利便性の向上に努めた。

【今後の取組について】

本市を知ってもらいきっかけづくりのため、市 HP、移住・定住支援パンフレット及び SNS などで移住者向けの情報発信を行うとともに、移住サイト「観音寺市で暮らしませんか」における投稿内容やシティプロモーション活動の充実を図る。また、移住者向けの民間雑誌での無料掲載を活用するなど、県外在住者へ向けた情報発信に努める。さらに、ふるさと納税を活用したシティプロモーションを強化し、関係人口の創出にも努める。令和 7 年度は、若者の U ターンや I ターンを促進し、移住定住につなげるため、奨学金返還支援事業を創設し、企業や大学の協力を得ながら広く周知を図り、効果的な事業実施を目指す。

空き家バンク制度については、市内不動産業者に制度を広く知ってもらい周知協力いただくとともに、空き家バンク事業者登録により情報提供可能な体制を構築することで、空き家の解消を進める。また、空き家の所有者や利用希望者に向けても、広報、市 HP、固定資産税納税通知書に同封するチラシなどで、空き家バンクやリフォーム補助制度の PR を継続し、新規物件登録数や成約件数の増加を図る。

基本目標4 持続可能なまちづくり			
数値目標		実績値	目標値
住宅の新築戸数		230 戸 (令和4年度)	250 戸 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
222 戸			

(1) 周辺市町との連携				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
広域連携事業数		3 事業 (令和4年度)		15 事業 (令和5～9年度累計)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPI の進捗評価
5 事業				D
【関連施策の実施状況】 四国まんなか交流協議会において、観音寺市、四国中央市、三好市の3市が連携して以下の取り組みを実施した。 関係人口創出事業：四国圏外において、四国中央地域の認知度を向上させ、地域と関わるきっかけを創出することを目的に、合同シティプロモーション活動を実施した。 ネットワーク促進事業：3市の若手職員等を対象に、職員のコミュニケーションスキルや課題解決力、企画立案力の向上を目指して、地域課題の解決やまちづくりに関するワークショップ等を実施し、意識啓発や交流を図った。				
【今後の取組について】 様々な手法で3市の連携や四国中央地域の活性化を図るため、各市の負担金で実施できる効果的な事業内容・事業数を検討する必要がある。今年度も3市が連携し、各市が開催しているイベント等に協議会としてブース出展等を行い、関係人口及び交流人口の拡大を図るほか、引き続き、ネットワーク促進事業にも取り組むとともに、各市の広報紙を活用したプロモーション推進事業も実施する予定である。				

(2) 地域コミュニティの活性化				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
NPO法人などの 市民活動団体（法人）数		15 団体 (令和4年度)		25 団体 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPI の進捗評価
21 団体				B

【関連施策の実施状況】

自治会活動の均衡ある発展と活動の充実や住民自治の発展等を図ることを目的として、自治会活動補助金を交付している。

また、高齢者を中心とした三世代交流を通じて地域住民が自由に参加し、コミュニティ活性化につながる地域サロン活動を支援する事業では、令和6年度の実施団体は、少し増加し34件であった。

市民団体等活動促進事業では、ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体等が行う地域の課題を解決するための自主的な活動等を支援している。令和6年度は申請のあった2団体に補助金を交付し、市民活動団体を主体としたまちづくりの推進と地域の活性化につなげている。

地域おこし協力隊事業では、JR豊浜駅を拠点に配置した隊員1名が、駅周辺地域の活性化を目的とした活動を実施した。また、任期満了後の起業に向け、活動拠点を移したが、引き続き、地域資源を活かした事業準備を進めた結果、市内で起業し、令和7年3月末の任期満了後も市内に定住して事業を継続している。地域の新たな交流拠点として機能し、にぎわいの創出や関係人口の拡大に寄与しており、地域活性化と定住促進の両面で成果を上げている。

【今後の取組について】

自治会活動については、自治会員1世帯あたり1,700円の補助金があることを引き続き周知し、支援を継続する。

地域サロン活動については、少しずつ地域サロン活動の件数が増えてきたため、今後も活動を支援する。

市民団体の活動については、新規の市民団体の発足が少ないため、市民活動団体の活動を幅広く市民に周知し、活動内容を理解してもらい、誰でも参加できる体制や利用しやすい環境づくりを推進する。

地域おこし協力隊事業については、新たな隊員の募集に向け、隊員の活動開始から任期終了後までを見据えた伴走支援体制を強化し、起業や定住につながるような情報提供や相談対応を充実させる。また、受入団体との事前調整を丁寧に行い、役割や期待を明確化することで、隊員とのミスマッチを防ぎ、活動の円滑な推進を図るとともに、本市ならではの魅力やビジョンを打ち出した募集情報を発信し、他自治体に埋もれない効果的な広報を行うことで、人材確保と定着を目指す。

(3) 住民の住みやすさ向上

重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
のりあいバス利用者数		159 人/日 (令和4年度)		250 人/日 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
163 人/日				C
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
空き家バンクの利用(成約)件数		20 件 (令和4年度)		25 件 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
32 件				A

【関連施策の実施状況】

のりあいバス運行事業では、交通空白地域・不便地域の住民の外出機会の促進や、市民の福祉の増進のため、市内5路線（伊吹線を除く）を運行した。運行経路においては、一部区間を除いて自由乗降を採用しているほか、HPにバスの位置情報を表示するなど、利便性向上の取り組みを行った。

空き家対策については、老朽化して倒壊のおそれがある空家等について除却を促進し、地域の住環境の向上を図るため、老朽危険空き家の除却を行う人に一部助成を行った。また、管理不全な空き家については、所有者等へ適切な管理・活用について働きかけるとともに、広報紙やHPなどを活用した周知を行った。

空き家バンク制度については、空き家と売買・賃貸希望者をマッチングし、市民の定住や空き家の活用・流動化を図ることができた。また、空き家バンクの利用を促進するために、空き家リフォーム補助金も実施し、リフォームや不要物撤去に一部補助を行うことで、物件登録・成約を後押しした。（リフォーム15件、不要物撤去8件。）さらに、物件の成約促進のために設けている「空き家バンク事業者登録」の制度も、再度、不動産事業者に対して周知を行い、38件の新規登録があったほか、空き家バンクHPを改修し、利便性の向上に努めた。

【今後の取組について】

のりあいバスについては、市民の交通手段としての利便性を確保しながら、広域的な視点で市民ニーズに対応した効率的な運用となるよう、適宜運行計画の見直しを実施する。また、乗降調査や時刻表の適正化等により、路線再編に向けた準備を進める。

空き家対策については、管理不全となっている空き家の所有者等への継続的な働きかけや広報啓発活動を行う。従来からの市内老朽危険空き家の除却費用の一部に対する補助金交付に加え、周辺住民に影響を及ぼす空き家所有者等に対する、適正管理の働きかけを強化するほか、空き家を放置するリスクや空き家の管理等についてのパンフレット配布や固定資産税納税通知書への啓発チラシの同封、HPでの情報発信を強化する。

空き家バンク制度は、引き続き、市内不動産業者とも協力しながら空き家バンクへの登録を促し、空き家の流動化を推進する。また、市内不動産業者に空き家バンク制度を広く知ってもらい周知協力いただくとともに、空き家バンク事業者登録により情報提供可能な体制を構築することで、空き家の解消を進める。さらに、空き家の所有者や利用希望者に向けても、広報、市HP、固定資産税納税通知書に同封するチラシなどで、空き家バンクやリフォーム補助制度のPRを継続することで、新規物件登録数や成約件数の増加を図る。

（４）情報提供と広聴広報活動の強化

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
市公式 Facebook のフォロワー数		3,295 人 （令和4年度）		3,500 人 （令和9年度）
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
3,387 人				B
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
市公式X（エックス）の フォロワー数		5,895 人 （令和4年度）		7,000 人 （令和9年度）
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
6,493 人				B

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
市公式 Instagram のフォロワー数		2,145 人 （令和 4 年度）		2,500 人 （令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
3,072 人				A
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
市公式 LINE の登録者数		5,697 人 （令和 4 年度）		15,000 人 （令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
9,407 人				C
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
市ホームページへのアクセス件数 （1 日平均）		5,027 件 （令和 4 年度）		7,000 件 （令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
4,491 件				C
【関連施策の実施状況】				
各課の情報発信を促すため、職員向けに HP アクセスランキングを周知するほか、X と Facebook への掲載依頼方法も改めて周知した。また、各課や関係機関で所有する PR 用写真一覧をまとめ、各課が魅力的な写真を活用して市を PR しやすい仕組み作りに努めた。 シティプロモーション事業では、Facebook や Instagram 等の SNS でイベント情報や魅力発信を随時行った。Instagram では市民や観光客に市の魅力を発信してもらうため、参加型の「#かんおんじふおと 2024」キャンペーンを 2 回開催し、観音寺市で撮影された魅力的な写真の投稿を募集した。投稿写真の中から、特に素敵な作品を投稿された 5 名に優秀賞として観音寺市の特産品や市 PR グッズを贈ったほか、投稿写真を市の広報活動に役立てている。（広報紙等への掲載、絵はがきやポスターの作成。）				
【今後の取組について】				
定例記者懇談会への出席頻度、報道機関への情報提供数、HP や SNS を活用した情報発信の頻度については、課や係で取り組みに差があるため、情報発信の重要性について、各課に呼びかけを行う。 シティプロモーションでは、Instagram のフォロワー数は徐々に増えてはいるが、さらに投稿内容を充実させ、関係人口や交流人口の拡大につなげる。令和 7 年度は、Instagram によるショート動画コンテストを開催し、動画投稿の増加を図るとともに、フォトコンテストを実施し、入賞作品を使用したオリジナルカレンダーを作成することで、フォロワー数の拡大につなげる。また、完成したカレンダーは、ふるさと納税寄附者へ配布するなど、シティプロモーションに活用する。海外の利用者が多い Facebook については、利用者が多く、来県者数も増加している台湾・香港に向けて動画広告を配信し、インバウンドの取り込みを図る。				

(5) デジタル行政の推進				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
オンライン化した行政手続数		19 件 (令和 4 年度)		52 件 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
27 件				C
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
高齢者向けスマートフォン教室の 参加者数		207 人 (令和 4 年度)		1,000 人 (令和 5 ～ 9 年度累計)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
401 人				D
【関連施策の実施状況】 全国的に展開されているマイナンバーカードを利用したびったりサービスを利用するとともに、デジタル行政を推進するため、独自にグラファースマート申請を導入し、オンライン化できる行政手続を拡充した。また、スマホ教室では基本的な操作などの説明に合わせ、市の公式 LINE や K コインを紹介し、広報にも努めた。				
【今後の取組について】 マイナンバーを利用したびったりサービスについて、利用可能な行政手続が少ないため、関係課と協議しながら拡充することを目指すとともに、グラファーの利用についても、庁内で周知し啓発に努める。また、スマホ教室については地区ごとに参加人数に偏りがあるため、効率的な開催地区や人気のある内容をメインとするなどの工夫を検討、実施する。				

○重要業績評価指標（KPI）の評価一覧（令和6年度分 全34件）

A評価・・・7件

「製造品出荷額等（製造業全体）」、「子育て支援センターの利用人数」、「がんばれ観音寺応援隊の隊員数」、「ふるさと納税の寄附金額」、「市内幼小中学校、高等学校及び大学等との連携事業数」、「空き家バンクの利用（成約）件数」、「市公式Instagramのフォロワー数」

B評価・・・9件

「企業等誘致数」、「一般介護予防教室の参加実人数」、「かがわ女性キラサポ宣言に登録している市内事業所数」、「かがわ縁結び支援センターの登録者数」、「道の駅（2か所）の総売上額」、「転出者数に対する転入者数の割合」、「NPO法人などの市民活動団体（法人）数」、「市公式Facebookのフォロワー数」、「市公式X（エックス）のフォロワー数」

C評価・・・12件

「就職説明会の来場者数」、「認定新規就農者数」、「森林整備面積（累計）」、「創業者支援制度の利用者数（累計）」、「製造品出荷額等（食料品製造業）」、「『観音寺ブランド』認証の産品数（累計）」、「市内小学校の地域学校協働本部設置率」、「出生者数」、「のりあいバス利用者数」、「市公式LINEの登録者数」、「市ホームページへのアクセス件数（1日平均）」、「オンライン化した行政手続数」

D評価・・・6件

「利子補給制度の利用事業所数」、「電子地域通貨（銭形Kマネー）の決済額」、「授業でPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日利用した児童の割合（小学校）」、「授業でPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日利用した生徒の割合（中学校）」、「広域連携事業数」、「高齢者向けスマートフォン教室の参加者数」

E評価・・・0件